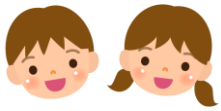
七松小学校
学校だより

令和７年度
６月号
尼崎市立七松小学校
校長　高島　洋

☆　ホームページアドレス　https://www.ama-net.ed.jp/school/E31/

あいさつと幸福度



６月となり新年度も2か月が過ぎました。暑い日が続きます。以前、新聞の投稿欄に、将来、学校で「昔は四季というのがあってね」と教える日が来るのではないかという投稿を見かけました。そうならないでほしいと切に願います。とはいえ5月5日の立夏を終えて、暦の上では夏となります。さらに暑い日が続きますので、水筒にたっぷりの飲み物をご用意いただくなど、よろしくお願いいたします。

さて、6月といえば梅雨です。雨が激しい時には気象情報をよくご確認ください。周りの市町に大雨警報が出ていて、尼崎市にだけ警報が出ないこともあります。この事態を不思議に思って気象庁へ問い合わせをした方を知っています。その方の話では、尼崎は土砂災害の可能性な低いため出ないのだと答えてもらったと言っていました。そういう意味では安全な街と言えます。ただ、大雨には変わりありませんので、気を付けて登校してください。

梅雨、雨というのは何となく嫌われ者のイメージがあります。あるアンケートによれば、梅雨や雨が嫌いな人は7割程度だそうです。ただ、恵みの雨という言葉があるように、雨は決して悪者ではありません。また、雨が降ると滝のようにマイナスイオンが発生するとか、雨の音には高周波が含まれていてリラックスするとか言われることもあります。いいこともたくさんあるのに、やはりイメージはあまりよくないのかもしれません。

そんな雨の日であっても、校門の前で登校時にあいさつをすると、子どもたちからは元気なあいさつが返ってきます。そんな元気な声を聴いていると、雨でも元気をもらうことができます。あいさつにはこのように元気をもらうだけではなく、あいさつをすることで「脳が活性化する」、「幸福度が増す」などの研究結果があります。あいさつっていいものですね。

WHOは差し迫った健康への脅威として「孤独」を挙げ、「社会的つながりを育む委員会」を2023年に新設しました。「孤独」は大気汚染などに匹敵するほど健康に害をなすと言われています。これを解決するためには、コミュニケーションが欠かせないと思います。あいさつはそんなコミュニケーションの第1歩です。多くの人とあいさつをすることが理想と言われますが、このご時世、見知らぬ人にあいさつはできません。ですので、ご家庭でもされているかとは思いますが、朝起きた時に、是非あいさつを続けてください。きっと、雨で気分が乗らなかったり、暑くてだるくなったりしても、あいさつが1日のエネルギーとなるはずです。子どもの「幸福度」アップのため、どうぞよろしくお願いいたします。